

市民公開講座のご案内

演題：コロナ禍の嗜癖行動～どう変わり、何をもたらすのか～

演者：天野 雄平（医療法人杏野会各務原病院）

2022年10月16日（日）：13～14時

会場：ZOOM会場（ライブ配信） 参加費：無料 定員：20名

※既に本大会に参加登録いただいた方は改めてお申込みいただく必要ございません。

※市民公開講座のみのご参加の方は市民公開講座ライブ配信のみご視聴いただけます。オンデマンド配信はございません。

※定員になり次第、申込締切させていただきます。

新型コロナウイルスの世界的大流行とそれに伴う社会の激変にみまわれてから、もうすぐ3年になります。この間に「リモートワーク」、「ソーシャルディスタンス」などの言葉が巷間にあふれ、我々の日常生活も大きく変わりました。それと同時に、我々を取り巻く嗜癖行動、例えば、アルコール、ドラッグ、ギャンブル、ネット・ゲームなどの在り様も大きく変わってきています。

一例をあげれば、アルコール・ドラッグによる死者や入院は増加しており、ギャンブルやネット・ゲームに関する問題も、よりオンライン化が進み、コロナ以前に比べその数を増やしています。一方で依存症治療の方法として、従来にはなかったリモートでの自助グループ活動など新しい動きも始まってきています。このような変化は一体、何を意味して、今後、我々に何をもたらすのでしょうか。

第32回岐阜大会の市民公開講座では、こうしたコロナ禍の嗜癖行動について、人間の社会活動との関わりも交えて、専門家の方だけでなく、一般の方にもわかりやすいようにお話しし、共に考える機会にできたらと考えております。ご質問もお受けしますのでお気軽におっしゃってください。それでは、皆様のご参加を心待ちにしております。

参加申込先：jun0914@kakamigahara-hosp.jp

申込締切：2022年10月12日（水）

上記メールアドレス（第32回日本嗜癖行動学会岐阜大会事務局）までお申し込みください。件名を「市民公開講座申込」としていただき、本文にお名前、ご所属をご記載ください。定員になり次第申込締切とさせていただきます。